

いー男も女もいへるから女のゝに **愚**

廿と思ひくぬるやけさもふもふば女二条の

右あり **宵** 詞よあつや亦右 **愚** 治よ

治 けいーあつとふてくぬや業年のぬ

父の右言なまじやふとらうてけり

いさなりといふものやぬて **愚** 治よあ

宵 海草や文なりの便よりてあつてふか

いーふとぬ物さるしにうーあつ **治**

ちさい海の藻や 袖中抄は鹿尾菜又六味菜

としけり文そのさるふもあつてふか



